

大会試合細則

- 試合はトーナメント方式とする。
 - イ) 出場選手数 1チーム20名以内とし、学童、中学の男女。
 - ロ) イニング(a) 中学部、学童部ともに7回とし、以後はサドンデスを採用する。
(b) オレンジボールは5回とし、以後はサドンデスを採用する。
 - ハ) 試合時間(a) 中学部、学童部は、試合開始時刻から1時間 30 分を過ぎたら新しいイニングに入らない。
(b) オレンジボールは、試合開始時刻から1時間 10 分が過ぎたら新しいイニングに入らない。
1イニング10得点で攻守交代とする。
(c) いずれの場合でも、時間を優先する。
 - ニ) サドンデス 7回(オレンジボール5回) 終了時、または試合制限時間を過ぎて同点の場合は特別延長戦を最大2イニング行うこととし、勝敗が決しないときは、抽選とする。 (無死満塁、継続打順で行う)
 - ホ) コールドゲーム(a) 中学部、学童部は、3回15点、4回10点、5回以後7点以上の差となったときは、試合終了とする。但し、オレンジボールは、採用しない。
(b) 暗黒、雨天等にて試合続行が不可能と、審判が判断したときは試合を終了する。
4回(オレンジボールは3回)を終了し得点差のあるときは正式試合、同点の場合は再試合とする。
 - ヘ) 決勝戦 (a) 中学部、学童部は、7回2時間とし、以後はサドンデスを採用する。
準決勝 (b) オレンジボールは、5回 1時間 30 分とし、以後はサドンデスを採用する
 - ト) 学童 B の部
(a) 塁間21^尺 投手 14^尺 5 回戦 制限時間 80 分
コールドゲーム(ホ) a) を適用する、(b) 3 回を終了……に変更
使用球はJ号
- ボークは、1回目より適用し、宣告する。(オレンジボールは、採用しない)
- ベンチは、組合せの若い番号を1塁側とする。
- 先攻、後攻は、試合開始前のジャンケンで定める。
- 抗議権による抗議は、監督及び当該プレイヤーのみとする。
- 試合前、チームは原則として5分間を限度にシートノックを行う事が出来る。
但し、進行状況によって、審判の指示に従うものとする。
- 用具 (a) 金属製バットは、J. S. B. B公認のマークの入ったものとする。
(b) 打者、走者、次打者、ベースコーチは、両側にイヤーフラップのついたヘルメットを着用する。
(c) 捕手は、ヘルメット、マスク、プロテクター、レガースを着用すること。
(d) ベースを固定する(オレンジボールは除く)。
(e) 金属製スパイクは、学童の使用を禁止する。
- 大会使用球は、各チーム負担とする。尚、場外に打ち出されたボールは、1塁側、3塁側は各ベンチ、ネット裏は攻撃側が速やかに取りに行き、球審に渡すこと。
(オレンジボール大会については連盟負担とする。)
- 各チームは、スポーツ安全保険に必ず加入すること。
- 上記以外は、当該年度全日本公認野球規則、競技者必携により行い、グラウンドルールは試合前担当審判員より説明する。
- ※メンバー表は、連盟仕様のメンバー表に記入し提出する。(メンバー表用紙は試合をする球場で受け取ってください。)
- ※オレンジボール、オールスター、秋季大会(中学部の6年生)、夏季大会は、ユニホームは統一されたものでなくても良いが、ゼッケン等で背番号を付けること。同一番号がある場合、試合開始前に審判員に連絡のこと。
- ※球場への移動及び試合中(付き添いの幼児など)の事故には充分注意して参加してください
- ※選手及びチーム関係者はゴミを自宅に持ち帰って処分してください。